

同窓会報



人口減少時代

愛知県立国府高等学校同窓会
会長 山脇 実

国府高校同窓生の皆様には、益々御健勝のこととお喜び申し上げます。日頃は同窓会の活動にご理解とご協力を賜り、又母校の発展に対して、温かいご支援をいただきまして、厚くお礼申し上げます。

現在日本の人口が二〇一〇年一億二千八百万人をピークとして年々減少しており、二〇四〇年には一億人を下回るだろうと言われています。そして二〇一四年五月に「日本創生会議」が人口減少と大都市への人口集中により全国の市区町村の半数八九六の自治体が消滅する可能性があると発表しました。東三河では、新城市・設楽町・東栄町・豊根村が消滅する可能性があるとされています。全国に衝撃が走っています。国は対

策として「まち・ひと・しごと創生本部」を立ち上げ、九月の内閣改造で地方創生大臣が誕生しました。活力ある日本を維持する為には地方が元気でなければできないといわれています。我が母校が位置する東三河地方は日本の中心でもあり、気候も温暖で緑豊かな、そして比較的大きな災害も少なく、住み良い地域です。この地域のよさを生かしていく工夫をし、人材を育てていくことが大事です。

また、出生数が百万人を下回るような現在の状況下では生産年齢人口は減少を続けることが予想されます。このような社会においては、生涯現役という考え方が現実味を帯びてくると思われます。医療費・介護費用等の社会福祉費の急激な増加は国

第 58 号

平成 26 年 12 月 12 日

編集・発行

愛知県立国府高等学校同窓会

〒442-8586

豊川市国府町下坊入 10-1

Tel・Fax

0533-82-2673

印刷／大林印刷

民生活を圧迫してきます。その対策として生涯現役、そして生活習慣病予防を徹底すること、健康に過ごすことが秘訣だと考えます。

一方、世界に目を転じてみますと、人口爆発と言われるほどの世界人口の増大が大きな問題となつていきます。一九六〇年に三十億人であった世界人口は今や七十五億人となっております。五十年前、人類の生存可能な人口は五十億人だとされていましたが、今や二十五億人もオーバーしています。現在、飢えで苦しんでいる人は約十億人いると言われています。今、世界の各地で紛争が頻発しています。根本の問題は食糧問題ではないかと考えます。世界が一致して対策をとらないと人類の滅亡も有り得るのではないかと危惧をするところですが、将来の日本・世界について、同窓生の皆様とも議論を深めていきたいと考えています。



「チーム国府高校」の一員となつて

愛知県立国府高等学校
校長 恩田 やす恵

本年四月から勤めています。卒業後40年近くが経ち、懐かしい母校で勤務できる幸せを日々実感しています。母校の発展のために関係の皆様とともに努める所存です。よろしくお願ひします。

「チーム国府高校」が合言葉として昨年度から生徒・職員に使われています。生徒会長の挨拶や職員の講話などでしばしば登場しますし、私も折にふれて生徒らに呼びかけています。学校生活の中で友人との切磋琢磨を通して集団の力により個人の力がさらに引き出されるという考えです。部活動や学習、学校行事はもちろん、受験や就職試験など個別のことであっても高め合う仲間として全員で取り組もうという姿勢が感じられます。

高校時代に使った漢文の参考書に広瀬淡窓の漢詩があったことを思い出しました。その中に「君は川流を汲め 我は薪を拾はん」とあります。勉学に励む日々には辛いことがあるかもしれないが仲間や友人がいるのだから励まし合ってがんばろう

という内容の七言絶句の一節です。私は今まさにその心境です。チーム国府高校の一員として、生徒諸君を応援したいと思つています。多感な高校時代は、多くのものを吸収し飛躍的な成長が期待できます。純朴で誠実で快活で何事にも一所懸命な国府高校の生徒たち。この後輩たちが国府高校で過ごす三年間をそれぞれ豊かな未来へつなぐ貴重な時間に行けるようになってほしいと心から願っています。

生徒会だより「今年創立94年目、創立百周年に向けてカウントダウンが始まっている」と書いてありました。一学期末のクラスマッチの報告などを綴った文章の中です。驚きでしたがとてもうれしく感じました。生徒たちも伝統や歴史の中の今を意識しているということでしょう。国府高生としての自覚や誇りとともに、高い志を持ち続けて毎日を過ごしてほしいと切望しています。

同窓会の皆様には引き続き母校と後輩たちへの御支援をよろしくお願ひいたします。

平成二十六年年度 同窓会総会・懇親会

平成26年5月18日(日)開催

総会には総勢四百六十三名の会員が出席し、平成二十五年度の事業・決算、平成二十六年年度の事業計画・予算が承認されました。その中で、名簿管理の方策と名簿発行の業者委託、ホームページ開設の方針が示されました。



満足度の高い人生が待っている！

十六回生 竹本 克彦

我々十六回生が、卒業五十周年を記念して発行した卒業者名簿の巻頭言を紹介しましょう。

私たちは、間違いなく人生百年時代に向かって生きています。八十歳でも通過点になることに、もはや異論はなかるう。ギリギリのいわゆる

「現役」を終えた我々六十歳代、これくらい以降の人生こそが、人間らしく幸福感に満ちた思いを享受できる「人生最高のとき」なのだ。

我々の多くは、後半生に足を踏み入れた途端、なぜか自分に自信がなくなったり、これからの人生は余生だなどとか、人生に対して少なからず消極的な思いを抱くものである。十把ひとからげの「年寄り」になることにも強い抵抗力を示さない人も多い。

これまでのあまりにも忙しくストレスの多い生活からせ



かく脱出できたというのに！

これからの後半生は、今までの人生で一番楽しくワクワクしながら迎えられ、過ごすことができるはず。何故、そういう人が少ないのか、また心から満足できる時間にどうしてしないのか。

人生をいい方向へ向かわせるのは、「ほんのちよっとしたこと」なのであろう。

「人生の小さな知恵」といえるものを実践したら如何か。人生を楽しむものはない。それは、

・これからは自分のイヤなこと
は無理するな
・勝たなくても

いい、人にやきもきするより自分中心に生きる

十六回生の連絡できる三百九十名に呼びかけ、百三十名を超える参加者がありました。多謝。



それぞれの思い

二十六回生 上野 史朗

ゲストの三遊亭萬橋師匠は武道場の前を通った折り、母校が十八年前とちっとも変わっていないことを感じたという。同窓会前夜祭の会場で、長崎から来たS君は、二百人位の出席者があるものと思つてやつて来たが、そうでないことにガッカリしたと語った。四十年振りの母校だそう。Mさんは豊川市内に住みながら、仕事で来たことを除けば、これまで一度も高校を訪ねたことはないといわれた。教育関係の仕事に携わる私は、何度も学校を訪れているし、かつて非常勤講師として四年間働いたので、とりたてて母校が懐かしいとは思わなかった。と

を無視したかのような騒々しさは、誰もが四十年前の高校生に戻つて語り合った結果なのだと思う。司会進行役の早川君は大変だった。翌日体育館前の受付で、会費を手渡すことよりも先に、懐かしい友を見つけて、はしゃぐ顔がいっぱいあった。懇親会ではフラメンコを観るよりも、喋ることに忙しかつた。とにかく皆嬉しいのだ。

他方、前夜祭、総会・懇親会への出席者は、卒業三十周年の時と比べ随分少なかった。住所不明で連絡できなかった人、事故や病気で逝ってしまった友が多かったのは辛い。出欠席の返信がないのには、もろもろの事情はあるう。

懐かしいとは思わなかった。と
いった具合に同窓会当日、そして前夜の集まりへの参加者の抱いた国府高校への思いは様々だ。
あの前夜祭の会場での式次第



皆さん26回生の皆さんを「遠い世界に」を歌う
昔を懐かしがるほどお気楽でも、暇も
ないといわれるかもしれない。国府高校を卒業したのは事実だ。だから無邪気な顔して一緒に笑い、
そして大声で語り合
いたかったのだ。



十年後に・・・

三十六回生 水野 隆二

「どうしよう・・・。」
「大丈夫かなあ・・・。」

平成二十五年度の懇親会に出た後、私と副代表の山田さんの間で思わず出た言葉です。昨年度の懇親会を企画・実行された先輩方は私たちの目から見てとても手際よく、楽しそうに会の運営をしていらつしやいました。こんなに楽しい会ができるのだろうか。いや、先輩方には及ばないまでも、同級生のみんながしっかりと集まれるような会にならない。とはいっても不安ばかりが大きくなってしまおうスタートでした。

「三十周年の担当学年だで。力貸して。」

十五年前に協力してくれた友人や、身近にいる同級生に声をかけていきました。徐々に協力してくれる友人が集まり、音信のなかった多くの同級生にも連絡が届くようになってきました。

招待状の送付手続きで、名簿の管理で、会場の設営で、司会進行や会計処理で、同級生たち

は手早く仕事を進めていってくれました。代表である私自身の見通しが甘く、周りの動きの速さに戸惑いながら反省しきりの毎日でした。

いよいよ当日。天候にも恵まれ、絶好の同窓会日和(?)でした。光風会館前では、受付等の準備を朝早くから進めてくれていました。駐車場案内では、多くの五十一回生が手伝いに来てくれました。こういった当日の手際の良さも、各係のキャップが前日までしっかりと準備してくれた賜物でした。



総勢463名でにぎわう懇親会

当初、私は参加者数の目標を四百人と考えていたのですが、同級生や十六回生、二十六回生、五十一回生の尽力で目標を大きく上回る四百六十名以上の参加がありました。直前まで追加の参加申し込みがあり、会場担当者として「うれしい悲鳴だね。」と言いついていました。本当に、ぎりぎりまでみなさんで参加を呼び掛けてくれたおかげだと思っております。

アトラクションはフラメンコのステージでした。同級生である磯部明美さんとそのチームの人たちが情熱的な踊りで懇親会に花を添えてくれました。広い会場でしたが迫力が伝わったのでしよう、ステージの後には多くの方が磯部さんたちと記念写真を撮っていました。

懇親会の余勢をかい、二次会には百名以上の同級生が参加して旧交を温めました。三十年の時を経て変わらない絆の強さに、国府高校の伝統の重みを改めて感じました。

三十周年の集まりは幕を閉じ、今はそれぞれが自分の暮らしに戻っています。しかし、私たち三十六回生には次の目標ができました。

「十年後、また元気で会いましょう。」



久しぶりの再会

五十一回生 富田 真弘

今から十八年前の四月、緊張と期待を胸に学校の門をくぐりました。そして卒業して十五年後、あの懐かしい仲間と逢えるのだという、こんなにも嬉しい気持ちで再び門をくぐる事ができたことに、改めて同窓会の存在はとて意味のあるものだと実感しました。

十五年の月日はやはり長いもので、三十四歳ともなると仕事や家庭、育児にと皆が自分の人生を生きています。再会に心躍らせながらも十五年の空白が少し不安にもさせました。しかし、そんなものは不要で、逢つ

た途端タイムスリップしたかのように話は尽きませんでした。恩師の先生方との再会もでき、皆の笑い声と笑顔が溢れる時間となりました。

そして、次はまた十五年後、私達五十一回生が同窓会幹事回生となり、運営をしていきます。その頃には皆、仕事も少しは融通が利くようになり、子育てからも少しは手が離れているのかなと思います。また皆さんに逢えることを楽しみにしていきます、十五年分の話を持ち寄り、また母校で再会しましょう。

第二十三回 光風会ゴルフコンペ

三十六回生 大山茂男

すばらしい晴天のもと、参加者一八四人で第二十三回大会が開催されました。先輩や三十六回生の協力により、参加者全員に賞品を用意することができました。表彰式は山脇同窓会会長にプレゼンターを務めていただき、盛大に行われた。優勝は十四回生平野芳正様、準優勝は同じく十四回生加藤吉明様。三位は十回生伊藤隆康様であった。





二〇二〇年

三十二回生

中 森 康 弘



公益財団法人日本オリンピック委員会、広報・企画部長
 二〇二〇東京大会準備室長、アジアオリンピック評議会国際委員会委員、アジア柔術連合理事
 日本体育・スポーツ政策学会理事、日本オリンピック・アカデミー監事
 ・中学・高校・大学と陸上競技、一〇〇MHを専門として行う
 ・筑波大学体育専門学群卒、筑波大学大学院体育研究科修士
 ・一九六一年六月十日生まれ 53歳

オリンピック競技大会は日本の将来を担う子供たちに夢と希望を与えるだけでなく、地域の活性化や国際交流の機会を創出し、それがスポーツ文化として継承されていく人類最大のスポーツイベントである。「オリンピックムーブメントの頂点となるオリンピック競技大会を何とか日本で開催したい」「世界に対して新たなオリンピックのモデル、日本スポーツ文化を世界に発信したい」との思いで二〇〇五年六月、JOCの担当責任者として国内候補都市を募ることからスタートした。

二〇〇九年十月二日、コペンハーゲンでの国際オリンピック委員会（IOC）総会において二〇一六年の開催都市にリオデジャネイロが選定され、東京は見事に破れた。計画は一

番優れていたが、これでは勝てないのがIOCの世界である。二〇一一年十一月、JOC水野副会長（当時）をプロジェクトチーフとする「オリンピック招致戦略プロジェクト」を立ち上げ、二〇二〇年の招致の準備に入った。国際活動に携わったスタッフを中心に徹底的に二〇一六年招致活動の反省を行い、投票権を持つIOC委員に対する戦略を周到に練ったのである。

東京には幸いにもコンパクトに配置された素晴らしい計画がある。二〇二〇年の招致活動では竹田会長を中心にIOC委員へのアプローチに集中する選挙戦略を取った。私も招致委員会の理事として一年間、IOC本部があるスイス・ローザンヌに在住し、欧州中心であるオリンピックの世界において委員との直接的な人間関係の構築に徹した。その結果、二〇一三年八月中旬には感触を掴むことができた。更に、最終プレゼンテーションにおいて高田宮妃殿下が多くの委員を魅了し、安倍首相

から日本を代表する力強いメッセージが発せられたことにより、二〇一三年九月七日、ブエノスアイレスにおいて「TOKYO!!」とIOCロゲ会長から宣言された。これまでの8年間の努力が報われた瞬間であった。

二〇二〇年の東京が決定した今、数十年に一度の日本国でのオリンピック・パラリンピックに一人でも多くの国府高校関係者が選手や役員、そしてボランティアとして直接参加し、愛知県で行われるトーチリレーや多様な文化プログラムにも多くの方が関わっていただくことを強く望んでいる。国府高校創立百周年でもある二〇二〇年という時代の節目に、「自分がいかに係り、その後の人生にどのように生かして行くのか」我々一人ひとりが、各々の立場で夢と希望、目標を明確にし、更にグローバルな視点を持つことにより、世界に誇ることができるよう愛知県立国府高等学校同窓生となる絶好の機会が来たと考えている。

同窓会名簿の刊行にご理解とご協力を

今まで同窓会名簿については、同窓会役員・校内幹事の先生方に多大な労力・時間のご負担をお掛けし、経費のやり繰りにも腐心しながら発行してきました。

また昨今は個人情報取り扱いについて意識が高まり、情報管理にも万全の態勢を求められる時代となりました。

こうした状況を踏まえて、平成二十四年度から名簿組織委員会を中心に、同窓会名簿刊行の在り方、同窓会で保有する個人

情報の管理・取り扱いについて検討・協議をしてきましたが、この度、常任委員会での審議を経て今後の在り方について次の成案を得ることが出来ました。

①同窓会名簿の作成・刊行に関する業務を「株サラト」に委託する。次回名簿刊行の時期は平成二十七年十一月とする。

②個人情報の管理は「愛知県立国府高等学校同窓会個人情報管理規定」に依って行なう。会員の皆様には今後、兵庫県（株サラト）から「調査やお願い」が届くこととなりますので、ご理解とご協力の程よろしくお願いたします。

同窓会の公式ホームページを開設・運営します

この度「愛知県立国府高校同窓会 公式ホームページ」を開設・運営することとなりました。

今までは同窓会のホームページを開くと、「愛知県立国府高等学校同窓会 光風」のタイトル表示の下「同窓会本部・各回生」のページへと展開されてきました。このホームページは、実は二十五回生の有志の方々を中心に開設・運営頂いていたものでした。

平成二十四年度からホームページ委員会にて検討を重ねて来ましたが、有志の方々の善意、ボランティア

アに甘えているのではなく同窓会として公式のホームページを開設し管理運営すべきだという結論にいたりました。今年度に入って具体的な準備を進め、この十一月から運用を開始することができました。

同窓会活動、事務局だより、同窓会報、母校の情報等々、現段階ではまだ骨格にあたる部分での内容となっております。

今後、より一層コンテンツの充実を図るとともに、新鮮な情報提供を心掛けていく所存ですので、会員の皆様方からの積極的なご支援・ご協力をお願いいたします。

平成27年度総会・懇親会

- 日時 : 平成27年5月17日(日)午前10時～
 - 会場 : 国府高等学校体育館
 - 会費 : 5,000円
 - 該当回生 : 17回生 (卒業50周年)
27回生 (卒業40周年)
37回生 (卒業30周年)
52回生 (卒業15周年)
- ※準備等の都合により当日の申込はできません。事前にお申し込みください。
(同窓会事務局 電話 82-2673)
実行委員長 37回生 森田 欣也
☎ 0533-78-5054

ゴルフコンペのお知らせ

- 日時 : 平成27年10月2日(金)
- 会場 : 平尾カントリークラブ
- 定員 : 200名 (予定)
- 申し込み・問い合わせ先 : ゴルフ部長 鈴木英克
☎ 0533-89-3156

講演会講師の募集について

本校では毎年、同窓生を講師にお招きし在校生を対象に講演会を実施しています。社会で活躍される先輩たちのお話は生徒たちにとって自らのあり方・生き方を考えるよい機会です。今後、学校と同窓会の協力体制を一層深め、この講演会活動をさらに発展させたいと考えております。つきましては、自薦、他薦を問わず、後輩に語っていただけの方について情報をお寄せください。分野ごとに講師登録一覧を作成します。
(詳細は別紙案内文をご覧ください。)

同窓会書記 大城 崇紀
TEL 0533-87-3141
FAX 0533-87-3123

第66回卒業生クラス代表者

- 印は年次代表(学年幹事)
- | | |
|----|--------|
| 1組 | 今泉 友佑 |
| 2組 | 張江 利奈 |
| 3組 | 小野 浩平 |
| 4組 | 高田 茜 |
| 5組 | 三好 晃嗣 |
| 6組 | 今泉 勇斗 |
| 7組 | 五十嵐明日香 |
| 8組 | 池谷 友克 |
| 9組 | 伊藤 夕佳 |
-
- | | |
|----|-------|
| 1組 | 鈴木 有里 |
| 2組 | 荒島 拓人 |
| 3組 | 宮野 有香 |
| 4組 | 杉浦 翔吾 |
| 5組 | 山田 亜衣 |
| 6組 | 小林 裕太 |
| 7組 | 山本 裕太 |
| 8組 | 伊藤 夕佳 |
| 9組 | 中村 真依 |

平成26年度同窓会役員

- | | | |
|---------|-------|-----|
| 会長 | 山脇 実 | 高15 |
| 副会長 | 渡辺 美智 | 高17 |
| 会計 | 小田伊佐浩 | 高31 |
| 会計(新) | 大島 嗣雄 | 高31 |
| 会計監査(新) | 石原みよ子 | 高22 |
| 書記 | 佐竹 裕子 | 高32 |
| 書記(新) | 関原 秀一 | 高31 |
| 顧問 | 中山 武久 | 高30 |
| 顧問 | 久保 雅弘 | 高26 |
| 顧問 | 大城 崇紀 | 高44 |
| 顧問 | 林 矩道 | 高3 |
| 顧問 | 和久田 強 | 高4 |
| 顧問 | 山本 和明 | 高6 |
| 顧問 | 片桐 逸司 | 高15 |
| 顧問 | 大河原皓規 | 高15 |
| 顧問 | 中島 剛 | 高20 |

気仙沼ボランティア報告会

本校の生徒8名が、8月21日(24日)に、豊橋東ロータリークラブ主催の「出愛・ふれ愛・感じ愛」東日本大震災復興支援ボランティアに参加しました。およそ13時間、バスに揺られて到着した宮城県気仙沼市で、海岸清掃や仮設住宅の訪問、現地の方々との交流会など、貴重な経験をを通して多くを学んできたようです。



9月の文化祭で全校生徒に向けて報告、発表をしました。

平成26年度 人事異動

- ◆ご転出の先生方
- 佐々木俊臣 校長 退職
 - 金田 正己 教頭 退職、岡崎西高等学校再任用へ
 - 井上啓二朗 教諭 退職、国府高等学校(再任用)へ
 - 岩倉 郁子 教諭 退職
 - 近藤 郁雄 教諭 豊橋東高等学校へ
 - 澤井 祐哉 教諭 名古屋大学教育学部附属高等学校へ
 - 西村みどり 教諭 春日井東高等学校へ
 - 大須賀 泰 教諭 小坂井高等学校へ
 - 市川 工 教諭 地域振興部地域政策課へ
 - 内藤 文絵 教諭 退職
 - 梅村 綾 養護教諭 豊丘高等学校へ
 - 石田 直司 再任用教諭 豊橋東高等学校へ
 - 笹岡 宣明 再任用教諭 豊橋商業高等学校へ
 - 山崎江里奈 期限付実習助手 田原市立伊良湖小学校(期限付養護教諭)へ
- ◆ご転入の先生方
- 中村 睦子 主任 豊橋特別支援学校へ
 - 下間 章正 主任 豊橋東高等学校へ
 - 恩田やす恵 校長 豊川養護学校から
 - 望月 亨一 教頭 小坂井高等学校から
 - 桜井 優介 教諭 新規採用
 - 水谷 嘉宏 教諭 新規採用
 - 竹内 秀樹 教諭 新規採用
 - 下門真梨子 養護教諭 蒲郡高等学校(夜定)から
 - 中尾 均 再任用教諭 御津高等学校から
 - 村田 憲治 再任用教諭 小坂井高等学校から
 - 吉田 守男 再任用教諭 豊橋東高等学校(退職)から
 - 井上啓二朗 再任用教諭 国府高等学校(退職)から
 - 寺部 有美 期限付講師 人間環境大学岡崎学園高等学校から
 - 牧野 剛 主査 新城東高等学校(作手校舎)から

校庭の国旗掲揚塔の台座にはめられた「1964五輪マーク」のプレートについてのいきさつはわかりませんが、当時三年生の小野邦久さんが聖火ランナーとして国道一号線を走られたと報告がありました。ありがとうございました。

平成26年度
部活動の結果

女子卓球部

川村さくら



- ・ 中部日本卓球選手権大会 2回戦進出
- ・ 第43回後藤杯卓球選手権大会 出場
- ・ 第54回東海卓球選手権大会 2回戦進出

本校二年生の川村さくらさんが、7月19、20日に三重県で開催された第66回中部日本卓球選手権大会に出場しました。惜しくも2回戦で敗退となりましたが、東海レベルの大会において念願の初勝利を収め、健闘しました。川村さんは、「まずは目標だった一勝を果たすことができ、本当に嬉しかった。今後も自分の力を十分に出し切り、楽しんで頑張りたい」と、笑顔で話してくれました。なお、全国大会レベルにあたる第43回後藤杯卓球選手権大会へも出場し、今後の活躍が楽しみです。

陸上競技部

川合早紀

- ・ 第61回東海高等学校総合体育大会

準決勝進出

〔記録〕女子400m
予選 (57, 77) 通過
準決勝 (57, 84) 落選

6月20日(金)名古屋市瑞穂公園陸上競技場



〔顧問より〕

第68回愛知県高校総合体育大会女子400mにおいて、それまでの自己記録(58, 15)を予選、準決勝、決勝と三回とも更新する快走で5位入賞、東海大会出場を達成することができました。東海大会では、4県のランキングが8位と全国に手の届く位置にいましたが、残念ながら準決勝で敗退する結果となりました。

陸上競技部員はじめ先生方、生徒の皆さん、たくさんの応援ありがとうございました。

高等学校総合体育大会東三河予選会 <県大会出場>		高等学校総合体育大会愛知県大会他	
	男子	女子	
野球部	(春季秋季ともに)5位		
陸上競技部	400m 3位	100m 4位・400m 2位	県大会5位・東海大会準決勝進出
	800m 2, 3, 5位	100mH 6位・400mH 5位	女子400m (川合早紀)
	1500m 3, 4位	砲丸投 5位・4×100m R 2位	
	110mH 3位・300msc 3位	4×400mR 3位	
	(秋季新人戦)		
	800m 2位・砲丸投 3位	800m 1位	
弓道部	団体(40射21中)		
	個人(8射6中)		
柔道部	団体3位	団体6位	
剣道部		団体3位	
卓球部		団体準優勝	中部日本卓球大会2回戦進出
		シングルス5, 9, 17位	後藤杯卓球大会 出場(川村さくら)
		ダブルス3, 5位	
			東海選手権大会女子個人出場 (川村さくら・安達七海・西澤文子)
体操部		団体優勝・個人総合2位	
	(秋季新人戦)	団体優勝・個人総合2位	
硬式テニス部	シングルスブロック優勝	シングルスブロック優勝	
	(秋季新人戦)	シングルスブロック優勝	
ソフトテニス部	(秋季新人戦)		
	団体6位・ペア9位	ペア2位	

平成25年度 卒業生進路状況（既卒生含む）

平成25年度の大学等入試結果および就職状況は次の通りです。普通科については、国立大学に名古屋大学・大阪大学をはじめ、150名（現役135名）が合格を果たしました。おそらく過去最高数と思われます。進路先は、北は東北から南は九州まで全国にまたがっており、自分のやりたいことを求めて最後までねばり強く頑張り続けた結果がうかがえます。私立大学については、愛知県内の大学で83%を占め、地元を中心に看護・医療系など資格志向が引き続き人気の状況です。商業科においても四年制大学とともに短大・専門学校への進学者が過半数となりました。就職についても地元の優良企業を中心に、希望者の全員が自分の意向に沿った就職を果たしています。（進路指導部長）

【普通科】

国公立大学	
岩手	1
秋田	1
福島	1
茨城	1
宇都宮	1
埼玉	2
千葉	1
電気通信	2
東京医科歯科	1
東京学芸	1
東京農工	2
横浜国立	2
長岡技術科学	1
富山	1
福井	2
山梨	7
信州	7
岐阜	4
静岡	18
浜松医科	2
愛知教育	22
豊橋技術科学	8
名古屋	7
名古屋工業	8
三重	6
大阪	3
奈良女子	1
鳥取	1
島根	2
広島	2
徳島	1
香川	1
高知	1
釧路公立	1
秋田県立	4
高崎経済	1
前橋工科	1
首都大学東京	1
横浜国立	2
都留文科	1
長野県看護	2
静岡文化芸術	3
愛知県立	4
名古屋市立	3
京都府立	1
京都市立芸術	1
大阪府立	1
神戸市外国語	1
兵庫県立	1
県立広島	1
北九州市立	1
合計	151

公立短期大学	
長野県短大	1
岐阜市立女子短大	3
静岡県立大短大部	1
三重短大	2
合計	7

私立大学	
東北芸術工科	1
青山学院	1
学習院	2
北里	1
慶應義塾	2
駒澤	2
芝浦工業	1
順天堂	2
上智	1
成蹊	1
中央	3
津田塾	1
帝京	4
帝京科学	1
東海	16
東京電機	2
東京都市	1
東京農業	8
東京薬科	1
東京理科	10
東洋	4
日本	9
日本体育	1
法政	5
明治	7
立教	5
早稲田	6
神奈川	1
金沢工業	1
岐阜医療科学	5
岐阜聖徳学園	3
中京学院	1
静岡理工科	2
聖隷クリストファー	9
愛知	125
愛知医科	3
愛知学院	19
愛知学泉	5
愛知工業	18
愛知淑徳	34
愛知みずほ	1
桜花学園	1
金城学院	13
至学館	5
相山女学園	30
星城	4
大同	8
中京	63
中部	27
東海学園	6
豊田工業	3
豊橋創造	3
名古屋外国語	18
名古屋学院	3
名古屋学芸	7
名古屋芸術	7
名古屋女子	29
名古屋造形	2

名古屋文理	2
南山	113
日本赤十字豊田看護	2
日本福祉	7
藤田保健衛生	7
名城	79
皇學館	5
鈴鹿医療科学	4
京都外国語	1
京都産業	4
京都薬科	1
京都女子	1
同志社	17
立命館	32
関西	2
近畿	3
関西学院	1
兵庫医療	1
久留米	1
合計	837

私立短期大学	
愛知学院大短大部	2
愛知大短大部	4
岡崎女子短大	2
名古屋文化短大	1
南山大短大部	6
合計	15

大学校・専門学校	
防衛大学校	2
愛知県農業大学校	1
県立愛知看護	2
静岡県厚生連看護	1
国立名古屋医療センター名古屋看護助産	1
社会保険中京看護	1
トヨタ看護	1
藤田保健衛生大看護	1
豊田地域看護	1
岡崎市立看護	5
豊橋市立看護	4
蒲郡市立ソフィア	1
東三河看護	3
埼玉医科大学付属総合医療センター看護	1
その他	9
合計	34

就職（公務員）	
愛知県警察	1
豊川市消防	1
合計	2

【商業科】

私立大学	
愛知大学	2
中部大学	1
日本福祉大学	2
中部学院大学	1
合計	6

私立短期大学	
愛知大短大部	1
南山大短大部	1
岡崎女子短大	2
愛知学泉短大	3
合計	7

専門学校	
県立愛知看護	1
愛知県立総合看護	1
豊橋歯科衛生士	1
名古屋医療秘書福祉	1
浜松医療福祉	1
中部美容	1
名古屋ビジュアルアーツ	1
名古屋スクールオブミュージック	1
大原簿記情報医療	1
ESPギタークラフトアカデミー	1
合計	10

就職	
豊川信用金庫	事務
蒲郡信用金庫	事務
ひまわり農協 2名	事務
トビー工業	事務
北河建設興業	事務
甲羅ホールディングス	事務
平石会計コンサルティ	事務
フクヤマ	製造
東海理化電機製作所	製造
デンソー	製造
イオンリテール	販売
サンヨネ	販売
コロナ	販売
寿宝会	介護
積善会 木戸病院	看護
平尾カントリー	キャディー
合計	17

本年いただいた寄付金

◆同窓会総会

高16回生	200,000円
高26回生	200,000円
高36回生	400,000円
高51回生	50,000円

◆会報協力金(今年度限り)

401名 878,000円

◆「同窓会活動協力支援」寄付金

458名 1,350,000円

ご寄付 ありがとうございます

今後とも一層のご支援をお願い申し上げます。

ご確認ください

- 今回、2枚の振込用紙を同封いたしました。
- 1枚は平成26年度の会報協力金と平成26年度の会報58号～平成35年度会報67号までの郵送代振込を兼ねた振込用紙です。
振込先：郵便局 **00830-2-53271**
- もう1枚は、平成25年度新設の「同窓会活動協力支援」寄付募集の振込用紙です。皆様からご支援いただいたご寄付を今年度ホームページ充実などに、早速活用させて頂きました。ありがとうございます。今後とも、よろしく願い申し上げます。
振込先：郵便局 **00860-7-215194**

地元と共に「40年」、豊川の不動産情報はお任せ下さい!

大功不動産 株式会社
daiko real estate agency

小林 大祐(第47回生)

豊川市伊奈町新屋138番地10
(豊川市小坂井文化会館フロイデンホール東)
TEL (0533) 72-2036
http://daiko1974.com/

和久田歯科医院

高35回生 和久田 交史
高4回生 和久田 強

豊川市蔵子1丁目26番地44
TEL 0533-86-3465

◆自動車内装用部品製造◆
◆工業化住宅用部品製造◆

宇都宮工業株式会社

代表取締役 土井 義 昭

本 社/豊川市一宮町上新切504
☎(0533)93-2626(代)

大木工場/豊川市大木町小牧179-4
☎(0533)93-5405

神社仏閣設計施工

林建設株式会社
林一級設計事務所

豊橋市前芝町東12 ☎(0532)31-0204
林 矩道(3回) 林 徹生(26回)

健康大業で食文化の彩りを創る

熊谷園芸

熊谷 隆(第42回生)

〒442-0804 豊川市二葉町中西浦26
TEL (0533)89-2552

お任せ下さい!

新築・リフォーム・耐震補強

(株)柘植建設
TSUGE 柘植 敬介(第43回生)

豊川市久保町向田1番地の10
TEL (0533)88-3207

35回生

東京海上日動
アフラック
総合代理店

宮地総合保険 PEACE OF MIND

0120-86-2414

豊川市伊奈町新屋138番地10
(豊川市小坂井文化会館フロイデンホール東)
TEL (0533)72-2036

三重県英虞湾真珠協会

会長 磯和 和治
三重県志摩市志摩町越賀

(株)英虞湾真珠協会エンタープライズ

代表取締役・協会常務理事 竹本 潤 26回生
豊川市八幡町本郷

お客様ご案内センター 0533-87-3703

一般・産業廃棄物収集運搬許可業者 産業廃棄物許可業者

未来のこどもたちのために...

株式会社 **明輝クリーナー**

本 社/豊橋市老松町中山101-34
TEL(0532)25-1026
FAX(0532)25-1227

原町工場/豊橋市原町南山1-99
TEL(0532)41-7530
FAX(0532)43-0165

H P / http://www.meiki-c.com

安震鉄骨が21世紀を創る
国土交通大臣認定Mグレード

東和鋼業株式会社

本社・工場 豊川市下長山町高畑6番地
大島 嗣雄(31回生)・大島 章和(33回生)

waltz

ワルツ株式会社

片 桐 逸 司(国高15回)
片 桐 近 義(国高17回)

本社 〒441-8077 豊橋市神野新田町の割2-1
Tel(0532)33-3510 Fax(0532)33-3515

M S F Mitaki Space Factory
Architectural Design ミタキスペースファクトリー

Fun Factory
community cafe

代表 井上 貴 仁(第43回生)
井上 曉 子(第43回生)

〒442-0029 豊川市末広通3-16-1
TEL / FAX(0533)80-0066
http://www.mitaki.net/

有限会社

ミト小田鉄工所

代表取締役
小田 伊佐浩
(31回生)

〒441-0321
豊川市御津町広石五反田31番地
TEL 0533-76-2720 FAX 0533-76-3093

印刷一般

大林印刷

大 林 久美栄(国高13回)
大 林 久 子(国高38回)

豊川市久保町下屋敷39番地
TEL (0533) 88-2281
FAX (0533) 88-6299

記念写真・証明写真・出張撮影
スクールフォト・カラープリント即日仕上げ

Photo **鈴木写真館**
tucio since 1938.

名鉄国府駅前

〈TEL〉0533-87-3271
豊川市久保町榑田13 〈HP〉www.p-s-s.net
〈営業時間〉火曜定休(祝祭日除く) AM9:00~PM7:00